

Rotary International District 2500

Governor's Monthly Letter

2022-2023



サクラ

Vol.11
2023.5.1

ガバナー月信



CONTENTS

ガバナーメッセージ	1
第6分区のIMを終えて！	3
第5分区IMを終えて	4
RLIを終えて	5
第3分区IMを終えて	6
国際奉仕事業を終えて	7
グローバル補助金事業視察報告	8
ハイライトよねやま	10
コーディネーターニュース	12
財団室ニュース	15
新入会員の紹介	17
ロータリー財団寄付者報告	19
物故会員	19
例会出席率及び会員数推移	20



ガバナーメッセージ

2022-23年度

国際ロータリー第2500地区ガバナー 久木 佐知子
(旭川西RC)

新緑が眩しい季節を迎えました。様々なイベントや催しが再開され、会員の皆様にはクラブ活動や地域社会での奉仕活動にお忙しいことと思います。

ポールハリスの提唱によって4名の会員から始まったロータリークラブは、今年2月に創設から118年を迎えました。これまでもロータリーはたえず変化に適応し成長してきましたが、世界中が新型コロナの対応に迫られている間にも、ロータリーは大きな変化と成長をもたらしました。

ローターアクトクラブが国際ロータリーに加盟し、ロータリー衛星クラブをはじめとするさまざまな形態のロータリークラブが多く生まれ、国際大会から例会にいたるまでオンラインで開催されるようになりました。

今も、こうした変化に私たちは適応し成長を続けています。ロータリーのDEI（多様性、公平さ、インクルージョン）への取り組みもまた、新たな社会環境での元気なクラブづくりへの推進となります。

さて、3月にはPETS（会長エレクト研修セミナー）がオンラインで開催され、続いて4月には地区研修・協議会が紋別市にて、約600名が参加し対面式で開催されました。いよいよ次年度に向けて準備が加速しています。現会長、幹事の皆様方にはクラブの年度当初の目標達成に向けご尽力いただいていることと思います。また、次年度会長、幹事の皆様方や各委員長の皆様方は、ゴードン・マックナリーRI会長テーマと鶴見誠一郎ガバナーの地区目標を理解したうえで、皆様のクラブにあった運営と地域社会への貢献を考えていただければと思います。今年度の役員の引継ぎも含め、次年度におきましてもそれぞれのクラブが素晴らしい年度になりますことを祈念いたします。

ところでPETSに関しては2020年からオンラインで開催させていただいています。2500地区が広大なことに加え、開催時期が冬季間であることから、会員の安全を考えてオンライン開催といたしました。今後もPETSはオンラインで、地区研修・協議会は対面式での開催になります。

地区では今年度、DEI推進委員会を新設させていただきました。ローターアクトは青少年部門から独立し、ローターアクト委員会として単独でご活動いただいております。また会員増強、維持にもつとめてきました。

会員数は皆様のご協力やご努力によりコロナ以前に戻りつつあります。加えて会員お一人お一人の声を多く聞くことに注力してきました。地区のHPやフェイスブックによる情報発信や、私自身のSNSの発信から会員の皆様とつながることもありました。その声の中で、女性会員からは地区内の女性会員のつながりや情報交換を求める声がありました。その声に後押しされ、年度当初予定の無かった「女性セミナー」を3月に旭川で開催しました。服部陽子公共イメージコーディネーターの基調講演「世界の潮流とこれからのロータリー」の中で、世界の潮流としてロータリーを例にあげ、ジェニファージョーンズRI会長、ニッキー・スコット副会長、ステファニー・アーチックRI会長ノミニニーが女性であり、ガバナーエレクトが受講する国際協議会の研修リーダーの半数が女性であることが報告されました。RIは今年度中に女性会員の比率を30%にすることを目標にしています。2500地区の女性会員はまだ5%です。10%を目

指したいと思います。女性セミナーの参加者からは、「ロータリーを学ぶ機会となった」、「ロータリアンとして誇りがもてた」とのコメントや「他団体との交流が図れて刺激になった」などご意見をいただきました。

地区会員増強委員会は邵委員長を中心に、各分区ごとにZOOM会議を開催していただきました。会員増強への新しいアイデアがある一方、問題も浮き彫りになりました。会長・幹事にご回答いただいた「上半期を振り返って」のアンケートではDEIへの取り組み、新クラブ創設、戦略計画等について、各クラブの取り組みを寄せていただきました。女性会員へのアンケートではハラスメントの有無やクラブ内での居心地などを訊ね、7割以上の方が所属クラブに満足していると回答しました。

これらのご意見やアンケート結果は月信に掲載しておりますが、調査、分析結果は地区事務所で記録しております。是非皆様のクラブ運営にご活用いただければと思います。

最後になりますがIMに関しまして、残念ながら第6分区のIMはタイ国3330地区の地区大会に参加したため出席が叶いませんでしたが、現在まで第3分区と第5分区のIMに出席させていただきました。

第3分区のIMは藤岡未生ガバナー補佐のリーダーシップのもと、4月8日（土）富良野演劇工場で約300人が参加して開催されました。

「人をつなぎ、今の想いが未来につながる、ロータリー」をテーマに、小谷典之ガバナーノミニーによる研修会「DEIについて」に加え、脚本家で劇作家の倉本聰氏が「当り前の暮らしを求めて」と題して基調講演がありました。倉本氏は「創作の『創』と『作』はともにつくるという意味ですが、『作』は知識とお金を使って前例にあわせてつくるとを言い、『創』は知恵でもって新しいもの、前例のないものをつくることをいう」と語り、今こそ、創の発想が必要であると述べられました。この前例にとらわれずに新しいものを創るという発想はまさにロータリーのビジョンそのものであると思います。



藤岡ガバナー補佐はロータリーのつながりと力を生かし、未来を想像し成長するロータリーを描いています。

第5分区のIMは3月25日（土）斜里町のゆめホール知床・公民館ホールにて開催されました。「変化に対応するロータリーを語ろう」をテーマに、松田英郎パストガバナーの基調講演に続き、フォーラムでは野尻勝規会員の司会により、網走西RC新谷会長、美幌RC丸山会長、清里RC若松副会長、北見西RC佐藤幹事、4名のパネラーからは各クラブのロータリー活動に寄せる思いや活動が生み出した成果を知ることができ、活発な意見交換となりました。丹羽ガバナー補佐は各クラブの自主的な活動を尊重され、変化に適応し、成長するロータリーを描いています。

第3分区、第5分区のIMはともに「学び」「考える」ロータリーの実践でもあり、寄せ来る時代の波への対応を、整えるための基調講演とフォーラムであったと思います。



IMの目的は分区内のロータリアンが一堂に会して、共通のテーマのもとロータリーを学び、友情を深めることにあります。参加された皆さまが、一人でも多くの会員と語り合い、それを糧として奉仕の実践などクラブの活性化が図られる事を願っています。そして、IMを楽しみ、明日のロータリアン人生の活力となることを期待しております。

各分区でのIMが糧となって、会員ひとり一人の熱意とリーダーシップで成長し続けるロータリーとなる事を願っております。



第6分区のIMを終えて！

第6分区ガバナー補佐 **松原 光一**
(帯広北RC)

2021年10月23日に第1回目のガバナー補佐会議にて久木ガバナーエレクトより委嘱状を授与され、ガバナー補佐（次年度）としてスタート、翌月の11月にIM実行委員会を立ち上げ2023年3月18日にIMを開催する事を決定した。当時は、まだまだコロナ禍の真っ最中であった。コロナでどうなるかわからないが、とにかくやれる形で開催する事を決意した。

2023年に入り、コロナ禍も丸3年が過ぎ、まだまだ、収束というわけには至っていないが、新型コロナウイルスもかなり弱毒性になり、5月には第2類から第5類に移行すると政府が発表され、「IM」を感染対策を万全にし今年度は懇親会「友情の宴」も含めて行う事とした。

2023年3月18日土曜日、2022-23年度 IMテーマ「ロータリー第6分区の仲間」～他クラブの事を知ろう！～をサブテーマに、帯広北ロータリークラブの例会場、ホテル日航ノースランド帯広で、ホストクラブ帯広北ロータリークラブ、コ・ホストクラブの芽室ロータリークラブにより13時から、IM（インターシティミーティング）都市連合会と言う呼称になる前の IGF（インタージェネラルフォーラム）都市連合一般討論会から数えて72回目、IMという呼称になって32回目のIM（インターシティミーティング）都市連合会を開催しました。



式次第のガバナー補佐挨拶は本来ならば、5分程度ですが私の我儘で、25分の時間をいただき（ちょっと挨拶としては異例の長いですが）日本のロータリーの地区ナンバー、最初は第70地区からスタートして我が地区のナンバーが第2500地区に至るまでの変遷と今回のIMテーマの「他クラブの事を知ろう！」のもと、第6分区11クラブと帯広ローターアクトの12クラブの創立歴史と各クラブの事を挨拶というより卓話形式で話をさせていただきました。

開会次第が終了後RI2500地区パストガバナー細川吉博氏の基調講演「ロータリー財団とロータリー活動にインパクトを」と題し、「財団はお金をくれ！しか言わないから」という事で、ロータリーの歴史などを伏線にしながら財団の事をお話をさせていただきました。とどのつまり、やっぱり寄付をよろしくという事には変わらないのですが……。

細川パストの約1時間の講演後、10分の休憩をはさみ、特別講演が始まりました。特別講演の講師は、ベネズエラ・ボリバル共和国 特命全権大使 石川成幸氏。正直、今までに面識はなく、前夜に食事をした程度で、どんな話をされるのか、期待大でした。「ベネズエラと日本の繋がりー今知っておくべきこと」と演題は、ちょっと硬そうなタイトルでしたが、当日は WBCの準決勝の山違いで、ベネズエラとアメリカ、日本とメキシコの対戦で、決勝で会いましょうと話をしておりましたが、みなさんご存知の通りの結果となりました。その後は、ベネズエラの魅力のエリアや美女が多い（これは、1度いかねば！）と話がすすんで行き、そんな事を思っていた事を恥るべき話が始まりました。

「エル・システマ」なる音楽教育プログラム。ベネズエラは、子供と青少年のための音楽教育発祥地として世界中に知られているそうです。目標は、国内の弱者、すなわち子供や若者、そして社会経済的条件によって社会から排除された人々の教育犯罪予防と更生を進めることです。家庭の経済状況や障害にかかわらず、希望する子供なら誰でも無償でオーケストラやコーラスに参加できる環境を整え、継続的に質の高い指導を行います。日本でも活動があり、「東京ホワイトハンドコーラス」は東京芸術劇場を拠点に、真のインクルーシブな共創の音楽活動とはどういふものかを探りつつ、中心となる聞こえない子供や見えない子供の主体性を大事にしながら活動を続けているそうです。まさに「インクルージョン」の意味を理解できるお話でした。うまく表現できませんが、感動しました。聞こえなくても、みえなくても音楽はできる『音楽は感じるものです！』圧巻の一言でした。

美人が多いからではなく、「エル・システマ」の活動に触れる意味でも1度はベネズエラに行きたいと思わせる講演でした。

3年ぶりの懇親会「友情の宴」でも、座席をいつもの同じクラブ同士ではなく、バラバラにシャッフルして座っていただき十勝地方第6分区の仲間として他クラブの方々といろいろなお話やゲームをして親睦を深めていただきました。

13時の点鐘より始まり 19時の終宴（手をつながない「手につかないで」でしたが、敢行いたしました。3年ぶりでした）までの6時間にわたり、開催された第6分区のIMでした。実行委員会、帯広北クラブ、芽室クラブの皆様、心より感謝いたします。「ありがとうございました！」



第5分区IMを終えて

第5分区ガバナー補佐 **丹羽 修二**
(斜里RC)



2023年3月25日(土)知床の地・斜里町にて、RI2500地区第5分区のIMを、全9クラブ、来賓の皆様のご協力によりつつがなく開催できましたことを心より感謝致します。

世界に蔓延したコロナ禍で社会生活が一変し、ロータリークラブの活動においても変化を余儀なくされました。IMも第五分区では、3年間開催されておらず、今回で新たなスタートを切ることとなりました。

久木ガバナーは、活動方針『ともに紡ごう!ロータリーの未来へ』の中で「困難な中にあっても…現状を当たり前ととらえず、未来を想像しその理想に近づいていく活動」とロータリーの進むべき活動の在り方を示していらっしやいます。

これを踏まえ第5分区のIMは「変化に対応するロータリーを語ろう」をテーマに掲げ、松田英朗パストガバナーをお迎えして、基調講演「ロータリーのゆくえ～共に考えましょう」を拝聴致しました。時代と共に変わって行くロータリーについて、経験を交え丁寧に説明いただきました。今後我々がロータリー活動を進めていく上で大いなる後押しを頂きました。

その後行われたフォーラムでは、有意義な意見交換が沢山出来ましたことに敬意と謝意を表示すると共に、これから先のロータリーの進むべき指針が見えてきたのではないかと期待致しております。

会場を移しまして、親睦会が行われました。その中で大いにロータリー談義が交わされ、仲間とトコトン語り合う喜び、親睦から奉仕に続く一連のロータリー活動の流れを体感し、今後の活動に対しての前向きな気持ちを掻き立てられました。

今回無事開催できたこと、盛会に終了できたことを素直に喜びたいと思っております。この成功が、次回IM、未来のロータリー活動に繋がって行くでしょう。各クラブの会員がロータリーの情報を伝え合い、相互の親睦を図る「親睦」と「奉仕」を軸とした本来の姿を取り戻していけるのではないかと思っております。

最後になりましたが、準備から運営まで奔走頂きましたホストクラブ・斜里ロータリークラブ、ご参加下さいました久木ガバナー始めとする来賓の皆様、各会員の皆様に厚くお礼を申し上げ、第5分区IMを終えての報告とさせていただきます。





2022～2023年度 RLIを終えて

RLI委員会 廣岡輝恵
(旭川西RC)

今期より地区にRLI委員会が設置されました。2021～22年度にRLI推進室という形で始まり、そのノウハウを引き継ぎZOOMで実施したところです。

前年度に申込みをされパートⅠからパートⅢまでを修了された第1期生は34名。第2期の修了者は33名で、うちDL（ディスカッションリーダー）に登録をされた方は、初期登録の地区役員を含めて現在38名です。受講者が6つのグループに分かれて各50分のセッションでテーマに沿った意見を交換します。その進行と時間の管理はDLの役割で、1回のパートを開催するのに18名の方のご協力が必要となります。

修了証を手にした方は、ディスカッションリーダーとしてお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、RLI（ロータリー・リーダーシップ・研修会）ですが、どのようなものか解らないという声を耳にします。そこで、今回のセッションの様子を動画ダイジェスト版にしてホームページに掲載しました。ご興味のある方やクラブでの周知の際にご活用いただければ幸いです。

参加された方からは、「やる気が出た」「悩みはみんな同じということが分かって安心した」「ロータリーに関する理解が深まった」など、「疲れた」という声と共にいただいています。当地区では、会長エレクトなど次期役員の受講を推奨しておりますが、入会歴の浅い会員にとっても良い学びの機会となるプログラムです。まだ体験されていないクラブがありましたら、どなたでも参加できますので次年度の受講をご検討下さい。

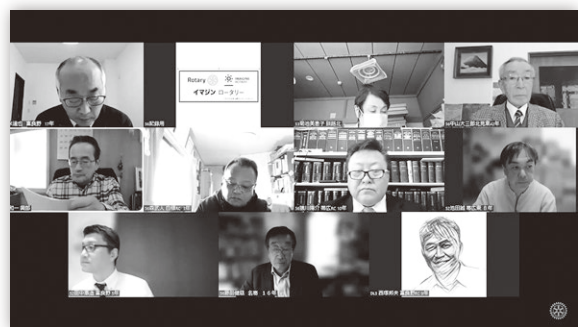
本来は対面でのセッションで、親睦を図る意味でも有意義な時間となるものではありますが、2500地区の広域性を考えると今後もオンラインでの開催が予想されます。集合型よりも参加がしやすいのではないかと思いますので、今後は修了者が増え、DLとしての交流も地区内で広がっていくことを願って、ご報告とさせていただきます。

最後に連絡の勝手際など、運営上行き届かない点多々ありましたが、皆様には快くご対応いただき心より感謝申し上げます。

DL向けセッション動画のお知らせ

各パートのセッション動画を YouTube チャンネルにアップしました。

会員限定サイト <https://rid2500.jp/2022-2023/download/rli/> でご覧いただけます。





第3分区IMを終えて

第3分区ガバナー補佐 藤岡末生
(富良野RC)

2023,4,8 富良野演劇工場に於いて実施されました。

富良野地において、IMを開催できることに感謝申し上げます。

第3分区 会員数 373名全員登録とし、当日の参加会員数 204名の参加でありました。

地区役員 久木佐知子ガバナー、川村寿裕地区幹事、東堂明パストガバナー、松田英郎パストガバナー、小谷典之地区DEI推進委員長、そして第1分区から第8分区のガバナー補佐5名の方が参加を頂き開催いたしました。

今年度のRIテーマ「イマジン ロータリー」 地区テーマ「ともに紡ごう！ ロータリーの未来へ」

そして、今回のIMテーマ「人をつなぐ、今の想いが未来につながる、ロータリー」としました。

イマジン ロータリー 想像してみてください 未来のロータリーを、決して明るいものではありません 今一度立ち止まりロータリーを見つめ直す時期かもしれません。

ロータリー用語において、横文字での表現が多く意味が理解できないことが有ります、それはすべて直訳だからかも知れません。今回「DEI」について、Dは多様性、Eは公平性、Iはインクルージョン包括性です。

当日地区「DEI」推進委員長の小谷様を講師として詳しく御講義を賜り学習致しました。そして当日の基調講演は「倉本聰」先生における「当たり前暮らしを求めて」と題して御講演頂きました。

「北の国から」は今も人気が高く多くの観光客が富良野を訪れております。

一昨年放送開始から40周年記念事業が開催されて、また、黒板五郎の主演「田中邦衛」さんが亡くなり、追悼イベントも開催されました、「黒板五郎」の生き方はこれぞ持続可能な開発目標「SDGS」だと倉本先生の講演をお聞きし感じたところです。

当日皆様と共に学習し職業奉仕に役立てたいと思います。





国際奉仕事業を終えて

旭川西ロータリークラブ 会長 佐藤 友 泰

この度のカンボジア・シェムリアップ州・チクレン群オーロミエン村に幼稚園を建設し寄付する国際奉仕事業を旭川西ロータリークラブと美瑛ロータリークラブとの協同にて2023年2月13日に無事終了することができました。

背景には、上記地区には幼稚園が全く足りてない現状があり、幼稚園に通える幼児は全体の27.3%に過ぎません。子どもたちが教育を受ける権利を尊重するべきであると考え、更にはロータリーの奉仕理念である基本的教育と識字率向上の一助となり得る事業を、貧困国地域に幼稚園校舎の寄贈をカンボジア教育局と連携しながら終える事が出来ましたが、現地入りして子どもたちとふれあい気づいた事は、靴も履けない貧困でありながらもそんな環境に構う事なく生きてく力がみなぎっている事、そして感謝の気持ちを忘れない事、日本では忘れかけていた風景がそこにはあり、感銘を受けてきました。

世界にはまだまだ貧困国が数多く存在しています。

国際奉仕活動を通じロータリーが今できる事、今後できる事を考えさせられる事業でした。



グローバル補助金事業視察報告



グローバル補助金チームリーダー 行木 隼人
(音更RC)

コロナ禍もようやく明けようとしている最中、昨年RI3330地区で行ったグローバル補助金のプロジェクト2件の視察と地区大会に参加して参りましたので、ご報告いたします。

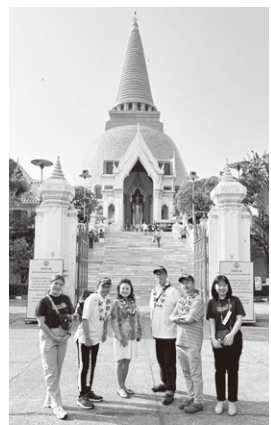
参加者：久木佐知子ガバナー、川村地区幹事、グローバル補助金チームから新井剛氏（釧路RC）とチームリーダー行木（音更RC）

3月16日。参加者はそれぞれ地元の空港から飛び立ち、たまたま同じ便であったJAL033機に乗るべく羽田空港へ向かった。コロナの制限も緩和され、昨年9月にマレーシアに行った時よりも空港は多くの観光客で賑わっていた。とは言ってもコロナ禍前の半分以下であろう。登場前に軽くみんなで顔を合わせた後、バンコクに向かう機内へと足を運んだ。深夜便ということもあり、ゆっくり眠りながら行くことがベストかも知れないが、座席の事情によりそれが叶わぬことを恨みつつ現地時間3月17日翌朝5時に到着し、入国審査を済ませた。眠いし、腰が痛い。事前情報だと入国審査に2時間かかることもあったが、すんなりと入国できたことはラッキーであった。



まだ1度も顔を合わせたことのない3330地区カンペンサンRCのロータリアン モクさん、ジーさんと無事に合流。お互いRCのTシャツや、帽子を被っていると目立つものだ。ただ、今回リソースサポートチームより補助を受けて購入したロータリー帽子は歯車のロゴが入っておらず、ロータリアンから見ても一見わからないようなデザインであり、海外向けではなかったのかも反省する次第であった。いつものように歓迎の横断幕を掲げて記念撮影をパチリ（写真向かって左からモクさん、荒井氏、川村地区幹事、久木ガバナー、行木、ジーさん）。

土産を含めた大きなスーツケースと共にバンに乗り込み、一つ目のグローバル補助金事業のカンペンサン病院に向かった。機内食もしっかり食べてお腹一杯のはずなのに途中のホテルで朝食を食べることになった。久木ガバナーあんなにお腹一杯と言っていたのに（食べることも仕事の一部。ホントの話です。早く食べ終わってしまうと次から次へと新たな皿が出てくることもあり）。ここ、ナコーンパトムは世界最大の仏塔があることで有名だ。高さ120mもあるとのことだ。他には何もない。お参りした後、この北部にある最初の目的地カンペンサン病院に到着。1日に3000人余りを診察する大病院ではあるが色々な医療器具・機械が足りない現状で治療を行なっている。昨年GG総額約70,000ドルの事業で、久木年度は持ち運び用自動救急救命装置2台と整形外科の手術に必要な器具の購入に協力した。幹線道路の行き交う交通の要所であり、交通事故が頻繁に発生する場所だそう。救急救命士の出動だけでは足りない大きな事故のときにこの自動救急救命装置は大いに役立つとのこと。ただ、見た感じの装置は1台300万円のものとは思えない代物で、補助金が適切に使用されているのかが非常に疑問に思うところもあったが実際に日本での購入価格を調



べてみると同じような値段であった。疑問を持ちながらの視察は非常に重要なものであり、足を運んでみないと全くわからないことである。例えどんなに素晴らしい事業への資金提供であったとしても視察は譲れないもので、今後の補助金事業に対しても必ず行わなければならないものだ。実は視察に先立ち、ハンドオーバーセレモニーが3月1日に執り行われた。Zoomでの参加であったため、その当日の風景ははっきりと知ることができなかったが当日の写真を参考にさせていただきたい。装置の使用の仕方のみでなく、多くの病院に従事されている方が、救急蘇生のトレーニングのレッスンを受けたと様子が伺える。また、漆崎年度にはCovid-19他新たな感染症が蔓延した時にも安心して出産できる陰圧室を備えた分娩室が提供された。この病院はバンコクに行かなくともさまざまな治療を受けることができる中核病院であり、他にも複数のグローバル補助金事業がなされている。



視察を終えた後、ようやく地区大会が開催されるラチャブリーに到着。待ち受けていたのは大きな歯車であった。地区大会は2日間行われ、3月17日の夜は今年度活躍したロータリアンの表彰式であった。200を超えるトロフィーが並べられてあり、地域に貢献したロータリアン、多くの寄付をしたロータリアンが受賞を受けていた。2500地区で行う地区大会の開催の1部での表彰とは大きく異なり、表彰式だけの1大イベントのようだ。財団委員長のPDGウィチャイが表彰された時、ほんとに多くのロータリアンがバラの花を手渡すところはビチャイ・ラタクルRI元会長が亡くなった後のカリスマの交代劇を思わせる光景だった。我々、2500地区からの参加者は長旅もあり、早々にホテルの部屋に戻ったが、会場は終わることのない祭りのようにその後の宴会は続いたようだ。

3月18日、大会2日目はRI会長代理のワンPDGの話、そして、私たちRI2500地区久木佐知子がガバナーの歓迎のスピーチの後、2つ目のグローバル補助金事業の視察のため、スファンブリ県のチャオプラヤーヤマト病院に提供した睡眠障害治療に関する装置（いわゆる睡眠時無呼吸症候群の診断に係るもの）の視察である。とあるガバナーは「視察の場所まではそんなに遠くないので、地区大会会場から1時間も



あれば行けるよ」などと言っていたが、片道2時間半のロングドライブである。現地に滞在したのは1時間ぐらいであろうか。このグローバル補助金事業に関しては大いに反省せざるを得ないものと個人的には考える。睡眠時無呼吸の診断をする前に、そうならないような肥満体型を改善するという啓蒙活動の方がずっと大切である。なかなか疾病の予防活動には至っていないのが現状で対症療法に対してのアプローチが目立つ補助金事業への参加は見直すべき時期であることを痛感した。そんなモヤモヤな気持ちを持ちながら、また2時間半のロングドライブを経て懇親会に突入した。

懇親会は皆、ラフな格好での参加である。それぞれのクラブはそのクラブでの衣装、パストガバナー等はアロハシャツ、今年度の会長は子供から借りてきたものかわからないが、学校の制服を着こなしていた。おまけに、舞台の上にながら出て出し物までする意気込みであった。参加しているロータリアンみんながすごくロータリーを楽しんでいるように思えた。

懇親会もまだまだ盛り上がりつつある中、ひと段落し、我々2500地区の四人は昨日も足を運んだプールサイドのバーで1杯飲んでひと段落という中で、財団委員長のウィチャイと合流長々と話を交わした。今後のグローバル補助金の使途の行方、ロータリー公共イメージ向上のため何をするかなど、様々なアイデアをいただいた。ロータリーを宣伝するための斬新なデザインを用いたポロシャツいかがでしょうか？



無事に地区大会での役目を終わらせた後はバンコクに戻り、1日余暇を楽しんだわけであったが、コロナ禍明けに久しぶり訪れたバンコクはやはり喧騒とした街であり、まだ公共の場所ではマスク装着の努力義務があった。グローバル補助金チームは仏像巡りとマッサージ、ハンバーガーを満喫した。一方、ガバナーチームは美食を堪能したようだ。

これからも2500地区と3330地区のロータリアンが行なっている補助金活動を理解し、その地域に貢献していることを肌で感じてもらうためにも多くのロータリアンの皆様に足を運んでいただきたい。



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライト よねやま

vol.

277

2023年4月13日
発行

1. 第5代よねやま親善大使が決定！

昨年12月から約2カ月間にわたって行われた「第5代よねやま親善大使」の募集には、多くの優秀な学友から応募が集まり、最終的に33人の応募者数となりました。

募集締め切り後、広報委員会、常務理事会にて厳正なる選考を行った結果、ご応募いただいた方々の中から、以下の3人が第5代よねやま

親善大使に決定しました。

任期は2023年7月から2年間。日本全国でロータリー米山記念奨学事業をPRします。地区行事などでのスピーカーとして、ぜひお声掛けください。よねやま親善大使の派遣をご希望される方は、当会事務局の広報担当へご連絡ください。



陳 瑶 (チン ヨウ)
(中国/2012-14/四日市東RC)

大手企業会社員。2018年度から2年間、第2750地区米山学友会会長を務め、今年度からは同学友会副会長として活動中。中国国家衛生健康委員会と厚生労働省、各医科・薬科大学のトップ層会談や医学術交流において通訳を担当。愛称は「マリオ」さん。



ウエンブウエベ スマナサラ
(スリランカ/2018-20/京都中RC)

一燈園の研究員。「NPO アシヨーカ」を設立し、子どもの教育を支援。ウクライナ、スリランカ、インド、ネパールの学生らに対し、日本語、日本の文化・技術を教えながら、異文化理解促進、平和で幸せな世界をつくる活動に尽力している。



イメン ジェプリ
(チュニジア/2019-21/西宮RC)

東京理科大学勤務。外国人女性と日本人女性に奨学金を提供する団体(CWAJ)でボランティア活動中。視覚障害者への奨学金や、英会話教育を行う。36,000人のフォロワーを持つFacebookページ「Welcome to Japan」を運営し、日本文化や観光地を紹介。

2. 寄付金速報 — 3月も順調に推移 —

前年同期比

+ 5.9%

普 - 2.0% 特 + 10.1%

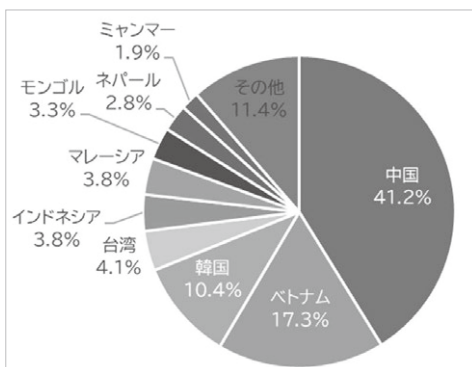
3月までの寄付金は前年同期と比べて5.9%増（普通寄付金:2.0%減、特別寄付金:10.1%増）、約6,700万円の増加となりました。3月単月の

寄付合計金額が5,000万円を超えたのは、前年度を除くと2018年度以来となり、コロナ禍以前の寄付状況に戻りつつあります。今年度も残り2カ月半余りとなりました。ご寄付を今年度実績扱いにするためには、6月30日（金）までに当会口座に着金するようご送金ください。よろしく願いいたします。

3. 2023 学年度奨学生採用とオリエンテーション開催

2023 学年度の奨学生は 901 人となりました。新規採用者 648 人、継続者 253 人です（4 月 7 日現在）。国・地域別では、中国 41.2%、ベトナム 17.3%、韓国 10.4%、台湾 4.1%、インドネシア、マレーシアが同率で 3.8% の順です。プログラム別では、学部・修士・博士課程奨学金が 845 人（学部 441 人、修士 237 人、博士 167 人）、地区奨励奨学金が 22 人、クラブ支援奨学金が 13 人、海外学

友会推薦奨学金が 4 人、海外応募者対象奨学金が 17 人となっています。4 月末までに新規採用者に対して各地区でオリエンテーションが開催されます。オリエンテーションは、奨学生とカウンセラーが出会い、奨学生としての義務やロータリーについて理解してもらう場です。確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。どうぞ温かく、新たな奨学生をお迎えください。



4. タイ米山学友会 総会開催

2 月 25 日、タイ米山学友会総会がバンコク市内で開催されました。3 年ぶりの対面開催となった今回、26 人の学友に加え、日本からは、ロータリアンとその家族を含む 7 人が参加し、会場には 33 人が集いました。

総会では、委員会の開催や会計報告のほか、病院への医療機器寄贈、小学校への遊具やスポーツ用品寄贈といった年間の活動報告、今年 8 月に開催される「再会 in 関東」についてのアナウンスがありました。同学友会会長のワラウト・ブンロッドさん（1995-97/福岡東南 RC）は、「ご参加いただいた多くの関係者と、日本か

ら足を運んでいただいたロータリアンの皆さまには感謝の気持ちでいっぱいです。久々の対面開催でしたが、タイ学友会の強い結束力、協調性、積極性でやりきることができました。次年度も、より盛大に総会を開催できるよう頑張りたいと思います」と意気込みを語りました。



5. 米山学友が日本の高校生で出前講義

3 月 17 日、国際ロータリー第 2750 地区米山学友会が東京都立小平高等学校にて国際交流活動を行いました。この活動は、もともと東京米山友愛ロータリークラブと東京米山ロータリー E クラブ 2750 が合同主催していましたが、学校側の日程都合により、今回からは同地区の学友会が主催しています。



当日は、同校の 2 年生の生徒 269 人に対し、6 人の米山学友と 1 人の現役奨学生に加え、1 人のローターアクターが講師として参加。それぞれの講師が授業形式で 7 つのクラスを回り、日本語と出身国の言葉を交えながら、自己紹介や興味のある話題、自国文化について紹介しました。今回の活動を後援し、同行した東京米山ロータリー E クラブ 2750 の疋田淳子会長は「講師がしっかり準備して臨んだことで、活気と笑い声に包まれるクラスばかりで、大変有意義な授業になりました。ぜひこれからも継続してほしい奉仕活動です」と感想を述べました。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当 : 野津(のづ)・長尾(ながお)

Rotary
Region 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2023年5月号 No. 1

発行: Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
ロータリー財団地域コーディネーター



第3地域

ロータリーコーディネーター補佐

中川基成

(あすかRC)

4月は入学式や入社式で新メンバーがそろって、不安と期待で心弾ませつつ新しい一步を踏み出す活気あふれる季節でもあります。

ロータリーにおいても新会員の入会は、クラブにとって組織活性化になり、会員にとってその人生の転機につながるという大きな意義あるものです。

ロータリーの新会員を迎えるオリエンテーションでは、ロータリーの中核的価値観を始め基本的かつ重要なロータリー情報が伝達されていることと思います。

そのひとつに、DEI（多様性、公平さ、インクルージョン）の行動規範が加わりました。

この行動規範は、ロータリーの中核的価値観を反映したものであり、クラブ会員全員に周知されてロータリーの様々な会合、研修、行事などあらゆる場において適用されるものです。その全文はMy Rotaryにもありますが、その中の一部を以下に抜粋いたします。

期待事項

すべてのクラブ会員、ロータリープログラムの参加者、学友、プロジェクトのパートナー、ロータリー代表者を含む参加者は、この行動規範を遵守し、他者を配慮し、誰もが尊重され大切にされる協力的でインクルーシブ、かつ前向きで健全な環境に寄与することが求められています。

他者を尊重する言葉を使う

- ・相手への理解を深めるために、アクティブリスニング（積極的傾聴）を実践する。
- ・わかりやすく話し、すべての人が理解できない可能性のある略語や専門用語は避ける。

サポートを示す

- ・他者の味方・擁護者となり、必要だと思われる場合には介入する心構えをもつ。
- ・不適切な行為を見たり聞いたりした場合、その影響を受けた人をサポートする。

温かく迎え入れるインクルーシブな環境を助長する

- ・温かく迎える環境をつくり、対話、プロジェクト、行事にすべての人を含める。
- ・クラブと地区でリーダー的役割を担う機会をすべての人に開く。

多様性を重んじる

- ・特定の人々を固定概念に当てはめたり、からかったりすることを避ける。
- ・異なるジェンダーを認識し、尊重する。

DEIの行動規範をもとにして、ロータリアンやその関係するすべての人々にとって居心地と風通しの良い風土を築く努力をすることが、魅力あるクラブを育てることになります。

DEIは、魅力あるロータリーへの会員増強とともに、一人も取り残すことのないクラブの退会防止につながる大きな切り札と考えます。

社会的弱者と呼ばれている人々の為のみならず、私たち全てのロータリアン一人ひとりにとっても大いに関連するDEIと認識していきたいものです。

Rotary
Region 1 & 2 & 3



コーディネーター NEWS

2023年5月号 No. 2

発行: Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
ロータリー財団地域コーディネーター



会員意識調査

第3地域

ロータリー公共イメージコーディネーター補佐

桑原 征一

(新居浜RC)

約3年におよんだコロナ騒動もようやく収まりを見せつつあり、これから本格的にロータリー活動も再開されるものと思います。人口減少下の我が国において、ロータリークラブも会員数の維持・増強は喫緊の課題であり、各クラブの皆様方も会員の維持・拡大にご苦労なさっておられる事と思います。

会員数の拡大・増強もさることながら、現会員の退会防止・維持も重要であると思われます。現会員の皆様、現状のロータリークラブについてどう感じておられるか、満足しているのか、否か！今後どのような活動をしていきたいのか等々を把握することも重要だと思います。

その意味で、本年2月に開催されました第2670地区愛媛第1分区IMでの会員アンケートの結果をご報告させて頂きたいと思っております。今後の活動に少しでも参考になれば幸いです。

以下アンケート項目並びに回答を報告致します。(対象者 第2670地区愛媛第1分区9クラブ364名)

紙面の制約上、ごく一部しか報告出来ないのは残念ですが、如何でしょうか？結果は皆さまの感性ですが、私は前向きにとらえています。

それぞれの会員は現状に満足し、存在・価値を高く評価していると思っております。ロータリー運動に自信をもって進んで行きたいと思っております。

あなたは自分のクラブに満足していますか？

	今治	今治北	今治南	東予	西条	新居浜	新居浜南	伊予三島	川之江	全体
満足	13 (39%)	3 (33%)	20 (49%)	8 (29%)	8 (32%)	28 (59%)	2 (15%)	15 (54%)	17 (43%)	114 (43%)
どちらかといえば満足	17 (49%)	5 (56%)	15 (36%)	14 (52%)	8 (32%)	16 (33%)	4 (32%)	9 (32%)	13 (32%)	101 (38%)
普通	5 (14%)	1 (11%)	6 (15%)	4 (15%)	8 (32%)	4 (8%)	5 (38%)	4 (14%)	10 (25%)	47 (18%)
どちらかといえば不満足	0	0	0	0	1 (4%)	0	2 (15%)	0	0	3 (1%)
不満足	0	0	0	1 (4%)	0	0	0	0	0	1 (0.3%)
合計	35	9	41	27	25	48	13	28	40	266 (100%)

ロータリー活動は自己成長は自己成長につながっていますか？

	今治	今治北	今治南	東予	西条	新居浜	新居浜南	伊予三島	川之江	全体
大いに役立っていると思う	9 (25%)	1 (11%)	15 (37%)	5 (19%)	2 (8%)	19 (35%)	3 (23%)	8 (30%)	13 (33%)	75 (27%)
役立っている	24 (67%)	7 (78%)	21 (51%)	20 (75%)	17 (68%)	23 (42%)	8 (61%)	16 (59%)	19 (47%)	155 (57%)
わからない	3 (8%)	0	5 (12%)	1 (3%)	3 (12%)	13 (28%)	1 (8%)	3 (11%)	8 (20%)	37 (14%)
あまり役立っていない	0	1 (11%)	0	1 (3%)	3 (12%)	0	1 (8%)	0	0	6 (2%)
役立っていない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	36	9	41	27	25	55	13	27	40	273 (100%)

Rotary
Region 1 & 2 & 3



コーディネーター
NEWS

2023年5月号 No. 3

発行: Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
ロータリー財団地域コーディネーター



第2地域

ロータリー財団地域コーディネーター

服部良男

(愛知三州RC)

第2地域のロータリー財団地域コーディネーター (RRFC) 第2760地区、愛知三州ロータリークラブの服部良男です。

2016～17年ガバナーを終わって、3年間ロータリー財団地域コーディネーター補佐、その後3年間コーディネーターで最終年度です。6年に渡り、多くのロータリーリーダーの皆様、日本事務局の皆様と一緒に活動できたことは、人生の財産です。

第2地域は、9地区ありますが、そのすべての地区が積極的にロータリー財団活動に取り組んでいらっしゃる、熱心な地区ロータリー財団委員長がいらっしゃいました。多くの地区財団リーダーが永年、ロータリー財団活動のリーダーとして活躍していらっしゃる方ですので、地区のロータリー財団活動の経験のない私は、多くのことを学ぶ素晴らしい経験でもありました。

そこで、地域のコーディネーターとしては、9地区のロータリー財団委員長の横のネットワークを創って、情報や、お困りごとを共有したりすることで、地域のとしての活性化をめざし、FF9というチームを創り5年になります。FF9とは、私の前任者の舟木いさ子RRFCのF、Rotary Foundation の F そして、9地区の9の頭文字です。ガバナーはガバナー会として横のつながりがありますが、地区委員長は、横の連携が無いので地域のコーディネーションが必要と結成しました。今年からは、E/MGA、EPNCもFF9に参加いただきました。

RRFCの3年間は、コロナ禍で、ほとんど、Zoomにてのオンライン会議になりましたが、2750地区の高橋茂樹補佐、2780地区の田中賢三、佐野英之補佐、2760地区の中村公彦、伊藤靖祐補佐と素晴らしい補佐に恵まれ、オンラインだから、より各地区のリーダーと交流や情報共有ができたと思います。FF9Newsを発行して、他地区の活動を共有したりしました。

今年度は、第2地域の地域リーダーが協働してチームになることを目指し、RPICの服部陽子様、RCの野口英一様、E/MGAの杉岡芳樹様、EPNCの伊藤雅基様と一緒に昨年10月の世界ポリオデー2022を企画運営いたしました。34地区の皆様には、ご協力いただき、誠にありがとうございます。地域リーダーチーム力が少しアップしたのではないかと考えています。

コロナのパンデミックがあったから、オンラインしかできなかったから、このようにFF9のチーム力が上がったし、地域リーダーの連携ができたと思っています。まさにコロナという脅威が連携という機会につながったと思っています。

次年度に向け、次年度RRFCの伊藤靖祐リーダーと更なる活性化を目指していきたいと思っています。今後もお支援、ご協力よろしくお願いたします。



RI 日本事務局 財 団 室 NEWS

2023年4月号

環境月間
発行日 3月29日



**トルコ・シリア災害救援基金へのご寄付・DDF寄贈は、
3月31日までです。**

トルコ・シリア災害救援基金への

- [オンライン寄付はこちら](#)
- 銀行振込によるご寄付： [寄付送金明細書はこちら](#) (寄付分類欄に、「その他(トルコ・シリア災害救援基金)」とご記入ください。)
- DDF の寄贈は [こちら](#)

※年次基金への寄付額に算入されます。ただし、シェアの計算や DDF の算出にはカウントされません。
 ※ニーズが減少した場合、または申請資格のある地区が要請する金額よりも多くの寄付が集まった場合、余剰分は世界のほかの災害の救援活動に充てられることとなります。また、4月1日以降に災害救援基金へお寄せいただいたご寄付は、世界のほかの災害の救援活動に充てられることとなります。

トルコ・シリア地震被災地でのロータリーの対応
トルコ・シリア災害救援基金への寄付が被災地の救援活動を支援

【被災しながらも救援に尽力するヒーローたち】

2月6日、午前4時過ぎ。ここ数世紀で最も死者数の多い大地震が、オヌル・カラバイさん一家の住む6階建てアパートを大きく揺るがしました。

「1分半にわたって建物が激しく揺れた」とカラバイさん(ガズィアンテプ・イペキョル・ロータリークラブ会員)は振り返ります。

カラバイさんが住むトルコ南部の都市ガズィアンテプは、震源地の近く。妻とともに大声を出して二人の子どものところに駆け寄り、靴や上着、電話、カギなど持てる必需品をかき集めて玄関まで行ったときに、最初の余震が来ました。

アパートから出て市外の田舎にある平屋建ての家に避難しました。一部屋に約25人が寝泊まりして寒さをしのぎ、電気はなく、冬の夜の気温は零下にまで下がります。

マグニチュード7.8の地震、そして相次ぐ余震により、トルコとシリアで数万人が命を落とし、複数の都市の大部分ががれきと化しました。

家や持ち物を失いながらも何とか避難した数万人のトルコ・シリア市民と同じく、アフメット・イルケル・スアットさん(ガズィアンテプ-アレベン・ロータリークラブ会長)は行き場を失い、妻・娘と一緒に車内で寝泊まりしています。
 記事の続きは [こちら](#)

[My ROTARY RIレポート](#)
[寄付送金明細書](#)
[寄付・認証の手引き](#)

寄付総額 世界上位5ヶ国

	2023年3月22日現在
アメリカ	\$ 164,042,981
韓国	\$ 17,983,812
日本	\$ 12,110,414
インド	\$ 11,170,115
台湾	\$ 11,063,269

2022-23年度

目標(世界)

- ・年次基金：1億3,500万ドル
- ・ポリオプラス基金：1億5,000万ドル (ゲイツ財団からの上乗せ含む)
- ・恒久基金：1億ドル (2025年までに20億2,500万ドル)
- ・その他の現金寄付：4,500万ドル (グローバル補助金への現金抛出等)
- ・全体(上記合計)：4億3,000万ドル

目標(日本)

- ・年次基金：一人当たり 150ドル
- 年次基金寄付ゼロクラブゼロ達成
- ポール・ハリス・ソサエティの推進
- ・ポリオプラス：一人当たり 30ドル
- ・恒久基金：冠名基金を各地区1件以上設立
- ・大口寄付：1万ドル以上のご寄付 100件、AKS10名増(日本全体)
- ・ポリオプラスへ DDF の 20% を寄贈
- ・ロータリー平和センター、重点分野への DDF 寄贈
- ・世界ポリオデー(WPD)の推進
- ・補助金の活用の促進
- ・ロータリー平和フェローシップの推進

日本の状況

冠名基金数 246
 AKS会員数 58
 PHS会員数 1338

ロータリー財団 2022-23年度 2月末 地区別寄付報告 (単位:米ドル)

地区	会員数	一人当り 年次基金	年次基金	ポリオプラス	恒久基金	その他の基金	合計寄付額	前年度 同月比
2500	2,173	75.74	164,584.75	20,936.98	582.34	3,296.15	189,400.22	56%
2510	2,336	99.82	233,180.19	27,465.82	38,861.67		299,507.68	104%
2520	2,044	67.19	137,338.31	27,539.52	352.45	76.92	165,307.20	93%
2530	2,165	58.52	126,692.33	32,184.41	10,007.51	305.77	169,190.02	75%
2540	1,100	34.97	38,470.17	4,523.60			42,993.77	62%
2550	1,635	120.40	196,861.30	18,830.71	11,370.68	4,407.70	231,470.39	85%
2560	1,963	93.79	184,100.02	31,971.54	2,195.65	5,326.92	223,594.13	95%
2570	1,556	100.29	156,053.75	48,256.44	43,873.33		248,183.52	95%
2580	2,833	118.50	335,702.23	128,830.83	69,744.18	1,423.08	535,700.32	83%
2590	1,854	141.61	262,551.23	40,534.31	31,207.84	230.77	334,524.15	99%
2600	1,838	96.20	176,817.14	44,011.43	7,469.42	307.69	228,605.68	92%
2610	2,466	77.92	192,140.85	31,992.56	1,000.00	152.68	225,286.09	113%
2620	2,756	109.62	302,123.53	72,900.71	17,100.00	2,050.00	394,174.24	104%
2630	2,990	113.82	340,308.84	43,601.60	70,685.86	7,875.00	462,471.30	103%
2640	1,576	93.34	147,102.60	34,673.98	2,249.53	3,150.00	187,176.11	98%
2650	4,242	133.93	568,145.57	93,266.50	33,136.09	76.92	694,625.08	92%
2660	3,404	173.34	590,061.79	233,309.37	141,648.04	40,720.05	1,005,739.25	128%
2670	2,861	67.66	193,587.75	37,322.16	10,000.00	76.92	240,986.83	80%
2680	2,522	93.24	235,149.46	57,853.23	26,812.45	6,644.48	326,459.62	88%
2690	2,879	112.12	322,789.11	78,145.08	40,800.00	38.46	441,772.65	103%
2700	3,030	62.72	190,033.58	26,801.00		1,050.00	217,884.58	90%
2710	3,066	118.86	364,411.81	62,061.91	56,650.00	1,050.00	484,173.72	94%
2720	2,310	93.19	215,259.55	42,095.29	23,085.97	1,000.00	281,440.81	139%
2730	2,289	41.84	95,763.83	17,813.72	3,340.00	384.62	117,302.17	102%
2740	2,061	45.45	93,671.64	17,749.56	3,153.84	3,038.46	117,613.50	51%
2750	4,480	147.69	661,661.43	189,558.97	104,424.25	7,594.23	963,238.88	90%
2760	4,545	128.79	585,356.18	130,866.42	41,387.56	5,458.80	763,068.96	88%
2770	2,309	159.19	367,575.95	86,063.14	38,522.93	2,100.02	494,262.04	100%
2780	2,228	149.08	332,159.51	67,621.28	25,174.34		424,955.13	112%
2790	2,623	113.49	297,672.21	52,980.21	39,619.25	3,537.88	393,809.55	94%
2800	1,492	73.38	109,484.90	11,088.19	12,218.98	1,538.50	134,330.57	60%
2820	1,813	154.53	280,158.33	58,667.92	30,014.49	2,100.00	370,940.74	113%
2830	1,095	74.72	81,820.39	15,957.21	3,463.20		101,240.80	92%
2840	2,021	102.51	207,169.84	42,461.25	14,938.50	76.92	264,646.51	96%
日本	82,555	106.43	8,785,960.07	1,929,936.85	955,090.35	105,088.94	11,776,076.21	95%
世界	1,166,331	70.48	82,204,423.61	24,170,061.10	23,234,284.82	14,074,124.04	143,682,893.57	
日本の割合	7.08%	-	10.69%	7.98%	4.11%	0.75%	8.20%	

国際ロータリー第2500地区

新入会員の紹介

第1分区 豊富ロータリークラブ



みやもと ひさし
宮本 堅

- 信用金庫
- 1974年7月21日生
- 4月1日入会

伝統ある豊富ロータリークラブに入会させて頂きました。よろしくお願致します。

第1分区 稚内ロータリークラブ



やまもと たつや
山本 達也

- 損害保険
- 1976年2月21日生
- 4月6日入会

この度、入会させて頂き感謝いたします。奉仕の精神に基づき皆様と交流を深め、地域の発展に貢献させていただきます。

第1分区 稚内南ロータリークラブ



ふじわら あつし
藤原 淳

- 新聞発刊
- 1961年11月18日生
- 4月入会

ロータリークラブの活動に積極的に参加し、その経験を通じて少しでも早く真のロータリアンとなれるよう努力を惜しまず、自分自身を成長させたいと思っています。

第3分区 旭川ロータリークラブ



せきやま まさのり
関山 真教

- 建設機械販売
- 1974年9月26日生
- 3月3日入会

・趣味:ゴルフ・キャンプ ・家族:妻、子(男2人、女1人)
人のために尽くせる人間になれるよう、頑張りたいと思います。

第3分区 旭川ロータリークラブ



そべ かおり
曾部かおり

- 保険一般
- 1974年8月13日生
- 3月3日入会

例会では毎回新鮮な学びをいただいています。ありがとうございます。親睦活動委員としてお役に立てるように頑張ります。よろしくお願いたします。

第3分区 旭川ロータリークラブ



ふくもと みちこ
福元 道子

- NPO法人
- 1951年7月6日生
- 4月入会

趣味は旅行、スポーツ観戦です。ゴルフが大好きですが、下手で下手で、でも懲りずにラウンドしています。

第3分区 旭川北ロータリークラブ



はたの あつし
畑野 敦志

- 信用金庫
- 1974年8月28日生
- 4月5日入会

旭川北ロータリークラブでいろいろ体験したいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願致します。

第5分区 北見東ロータリークラブ



いのうえ ひでとし
井上 秀敏

- 信用金庫
- 1967年4月9日生
- 4月1日入会

大変緊張しておりますが、皆様方にご享受頂きながら頑張ってお参ります。宜しくお願致します。

第5分区 網走ロータリークラブ



しまだ しょうぞう
島田 昭三

- 測量コンサルタント
- 1944年8月7日生
- 3月7日入会

新人です。宜しくお願致します。趣味は体を動かす事です。出来る事は何でもやります！

第6分区 芽室ロータリークラブ



えんどう そうすけ
遠藤 壮介

- 金融サービス業
- 1978年6月9日生
- 4月1日入会

ロータリー活動を通じて、たくさんの「縁」を大切にしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願致します。

第7分区 音別ロータリークラブ



こ さか のり ひと
小坂 紀人

- 信用金庫
- 1974年11月10日生
- 4月1日入会

奉仕の精神で頑張ります！

第7分区 釧路東ロータリークラブ



うち やま ゆう た
内山 雄太

- 保険業
- 1983年12月26日生
- 4月1日入会

相互扶助の精神で会の為、地域のためにがんばっていき
たいと思います。どうぞよろしくお願ひ致します。

第8分区 浜中ロータリークラブ



こ がみ けん た
小上 謙太

- 信用金庫
- 1983年10月10日生
- 4月1日入会

先輩会員のご指導の下、ロータリー活動に参加させて頂
きたいと思います。どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

第8分区 中標津ロータリークラブ



むら もと ゆう いち
村元 雄一

- 自動車整備業
- 1980年8月28日生
- 3月1日入会

趣味：ゴルフ 家族構成：妻、娘（7才）です。入会動機：断
れない先輩からの誘いで(；・∀・) 地域の為に頑張ります。

第8分区 中標津ロータリークラブ



い とう まさ ひこ
伊藤 雅彦

- 経営コンサルタント
- 1963年11月2日生
- 3月1日入会

中標津の自然環境、光ファイバー、町から近い空港に魅せら
れて、ワーケーションの目的から拠点の設置までしちゃいま
した。宜しくお願ひ致します。

第8分区 中標津ロータリークラブ



もん ま かず や
門馬 一也

- 建設業
- 1966年8月10日生
- 3月1日入会

入会の機会を頂きありがとうございます。まだ何も分か
りませんがご指導のほどよろしくお願ひ致します。

第8分区 中標津ロータリークラブ



なか むら まさ ひろ
中村 正宏

- 建設業
- 1970年10月23日生
- 3月1日入会

趣味は温泉巡りです。

第8分区 中標津ロータリークラブ



い が ら し か す み
五十嵐華純

- 飲食業
- 1978年10月9日生
- 3月1日入会

中標津にて焼肉店、bar、加工品販売の会社を営んでおります！今後も
新たな事業展開も視野に精進していきたく思っております。このよ
うな素晴らしい会に入会させて頂き本当に感謝致しております！常に
『人と人の繋がり』を第一に頑張っていきたいと思っております。

第8分区 中標津ロータリークラブ



とみ ぎき よし とも
富崎 仁友

- 飲食業
- 1976年7月13日生
- 3月1日入会

楽しく生きています(^_^)

第8分区 中標津ロータリークラブ



てら さき みつ よし
寺崎 光義

- 自動車関係
- S43年4月26日生
- 3月1日入会

なんとなく趣味を探してみようと思い、入ってみました。

第8分区 中標津ロータリークラブ



う え は ら じ ょ う じ
上原 成二

- 警備業
- 1977年2月24日生
- 3月1日入会

趣味：フィッシング

ロータリー財団寄付者報告

第3分区 旭川西ロータリークラブ

い う ち と し き
井内 敏樹

寄付月日 2023年1月30日
寄付種類 MPH 4 回目

第3分区 旭川西ロータリークラブ

い う ち ま さ き
井内 正樹

寄付月日 2023年1月30日
寄付種類 MPH 2 回目

物 故 会 員



第5分区 斜里ロータリークラブ

み う ら の り お
三浦 詔男 〈印刷業〉

令和5年3月12日逝去（享年80歳）

昭和58年7月	入会	平成2年	副会長
昭和63年	幹事	平成3年	会長
昭和63年	ポールハリスフェロー	平成24年	2500地区第5分区IM実行委員長



第5分区 北見ロータリークラブ

い が ら し ち か ら
五十嵐 力 〈建設工事〉

2023年1月24日逝去（享年81歳）

昭和51年	7月入会	平成7年	会員増強委員長
昭和54年	国際青少年委員長	平成10年	MPHF（2回目）
昭和58年	青少年委員長	平成15年	MPHF（3回目）
昭和59年	PHF	平成16年	MPHF（6回目）



第6分区 帯広西ロータリークラブ

お く だ よ り ま さ
奥田 頼昌 〈上下水道工事〉

2023年4月7日逝去（享年71歳）

平成13年	5月入会	平成23年	広報委員会 委員長
平成15年	米山記念奨学委員会 委員長	平成25年	幹 事
平成17年	出席委員会 委員長	平成28年	ロータリー財団委員会 委員長
平成19年	会員増強委員会 委員長	令和元年	国際奉仕担当理事
平成21年	新世代奉仕担当理事		

例会出席率及び会員数推移

2023年3月末報告

分 区	クラブ名	例 会 数	出 席 率 (%)	会 員 数			
				前月	当月	増減	女性 会員
1	礼 文	2	60.0	14	14	0	0
	利 尻	4	83.0	19	19	0	0
	利 尻 島	1	100.0	15	16	1	1
	天 塩	1	75.0	12	12	0	2
	豊 富	4	100.0	19	19	0	1
	稚 内	4	65.0	44	43	-1	2
	稚 内 南	3	80.0	36	36	0	1
	計		80.4	159	159	0	7
2	美 深	3	81.9	24	24	0	1
	枝 幸	1	68.0	25	25	0	0
	名 寄	3	62.4	55	55	0	2
	中 頓 別	4	65.4	13	13	0	0
	士 別	4	79.1	43	43	0	1
	計		71.4	160	160	0	4
3	旭 川	4	67.5	61	63	2	1
	旭 川 東	4	-	29	29	0	0
	旭 川 北	4	78.5	43	43	0	0
	旭 川 南	3	-	28	27	-1	0
	旭 川 西	3	81.3	53	52	-1	5
	旭 川 東 北	4	-	16	16	0	1
	旭川モーニング	4	-	21	21	0	2
	旭 川 空 港	3	88.2	17	17	0	3
	美 瑛	3	54.4	30	30	0	0
	富 良 野	4	67.1	49	47	-2	3
	上 川	3	80.0	10	10	0	0
	2500REクラブ	4	87.5	20	20	0	3
	計		75.6	377	375	-2	18
4	遠 軽	5	83.6	41	41	0	2
	紋 別	5	51.1	30	30	0	0
	紋 別 港	3	77.3	27	27	0	0
	中 湧 別	3	92.6	9	8	-1	0
	興 部	2	86.6	15	15	0	0
	雄 武	5	77.8	12	12	0	0
	滝 上	3	81.0	14	14	0	1
	計		78.6	148	147	-1	3

分 区	クラブ名	例 会 数	出 席 率 (%)	会 員 数			
				前月	当月	増減	女性 会員
5	網 走	3	64.5	52	53	1	8
	網 走 西	4	60.4	48	47	-1	0
	美 幌	4	84.0	53	53	0	6
	北 見	4	78.0	56	51	-5	5
	北 見 東	3	75.4	43	41	-2	2
	北 見 西	3	80.2	61	61	0	0
	清 里	4	69.9	30	30	0	0
	留 辺 薬	3	72.7	23	23	0	1
	斜 里	3	88.8	33	32	-1	4
	計		74.9	399	391	-8	26
6	足 寄	3	60.7	29	29	0	1
	広 尾	2	44.7	19	19	0	0
	上 士 幌	3	71.8	13	13	0	0
	芽 室	2	81.8	22	22	0	1
	帯 広	4	72.4	89	87	-2	6
	帯 広 東	4	79.3	39	39	0	2
	帯 広 北	4	55.8	65	65	0	3
	帯 広 南	2	78.4	67	67	0	7
	帯 広 西	3	56.8	86	87	1	6
	音 更	3	70.6	42	42	0	5
	清 水	5	-	18	18	0	2
	計		67.2	489	488	-1	33
7	釧 路	5	50.8	103	98	-5	0
	釧 路 東	3	65.0	33	32	-1	0
	釧 路 北	5	79.0	109	108	-1	13
	釧 路 南	5	70.0	27	27	0	4
	釧 路 西	2	66.0	27	26	-1	1
	釧 路 ベ イ	3	66.7	19	19	0	3
	音 別	3	76.0	15	14	-1	0
	白 糠	4	77.5	10	10	0	0
	計		68.9	343	334	-9	21
8	厚 岸	3	71.4	14	14	0	0
	別 海	3	51.5	11	11	0	0
	浜 中	3	76.5	12	11	-1	1
	中 標 津	3	56.1	27	35	8	2
	根 室	3	54.0	36	36	0	0
	根 室 西	3	78.5	50	49	-1	1
	弟 子 屈	2	60.5	19	19	0	2
	計		64.1	169	175	6	6
	総 計		72.6	2,244	2,229	-15	118

第2500地区 全66クラブ	前月未会員数	当月未会員数	増 減	平均出席率
	2,244	2,229	-15	72.6%
女性会員数	118	118	0	



2022~2023年度
国際ロータリー第2500地区
Rotary International District 2500

ガバナー事務局

〒070-0043
旭川市常盤通1丁目 道北経済センタービル6F
TEL: 050-5444-5129 FAX: 050-5444-5130
E-mail: info@rid2500.com

Governor Office

〒070-0043
1Chome Tokiwadori Asahikawa Japan
Dohoku Keizai Center Building 6F
PHONE: +81-50-5444-5129 FAX: +81-50-5444-5130
E-mail: info@rid2500.com

<http://rid2500.jp/2022-2023/>

